

NATURAL SOUND STEREO CASSETTE TAPE DECK



TC-800GL

取扱説明書

 YAMAHA

① ご挨拶

このたび、ヤマハステレオカセットデッキTC-800GLをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

TC-800GLは、カセットデッキ本来の姿である小型、軽量、操作性の良さに、傾斜パネルを採用した斬新なデザインなど、日常の録音はもとよりFMエアチェック、生録音にも偉力を発揮する多用途、多目的ステレオカセットデッキです。

この取扱説明書は、TC-800GLを長年故障なく、性能を最高に発揮させてご使用いただくため、ご使用前に是非お読みくださるようお願いいたします。

また、別冊「カセット・ミニ知識」も合わせてお読みください。

③ 規 格

●メカ部	
ワウ・フラッター	0,057%以下(WRMS)
テープ速度	4.8cm/sec
速度偏差	±1.0%以下
ピッチコントロール	±3%
FF, REW	80秒以内(C-60)
●アンプ部	
録再周波数特性	30~13,000Hz(LH) 30~15,000Hz(CrO ₂ , FeCr)
入力感度 LINE	50mV/50KΩ
MIC	0.5mV/10KΩ
S/N比	50dB以上(OVU) 58dB以上(DOLBY-ON)
総合歪率	1.5%以下(1KHz OVU-LH)

バイアス周波数	85KHz
チャンネルセパレーション	30dB以上
LINE 出力	0.4V(OVU)
PHONES	1mW/8Ω 3mW/150Ω

●総 合	
使用半導体 Tr	45
IC	6
ダイオード	38
使用乾電池	単2×9本
消費電力 AC	16W
12V DC	7W
寸法(W.H.Dmm)	312×98(150)×312
重量	5.0Kg(電池含まず)

●付属品 カセットテープ1本・ピンプラグコード2本・ACコード1本
(規格は性能向上のため変更される場合がありますからご了承ください。)
Dolbyはドルビー・ラボラトリーズ・インコーポレーションの商標である。

● 内 容

- ① ご挨拶
- ② ご使用になる前に
- ③ 規 格
- ④ サービスのご依頼について
- ⑤ TC-800GLは
このようにセットしてください。
- ⑥ 乾電池の入れ方
- ⑦ ヘッドの清掃
- ⑧ 各部の名称
- ⑨ 再生の手順
- ⑩ 録音の手順

② ご使用になる前に

TC-800GLを、いつまでも美しい音でお楽しみいただくために、次のような場所でご使用になりますと音質を悪くしたり、故障などの原因となりますのでご注意ください。

- ① 直射日光や湿気の多い所、ホコリの多い場所。
- ② 温度の特に低い場所。
- ③ 磁気の多い場所。
- ④ 振動の多い場所。
- ⑤ POWER SW を ON した時のカチッ

という音は内部機構の音で問題はありません。

なお、テープは必ずどちらかのエンドまで巻き取り、テープケースに入れておくように心掛け、保管する場合でも3ヶ月に一度位は巻き直しておいてください。

[ご注意] 電源スイッチをONしてから、しばらくは音が出ませんが内部回路を保護するため故障ではありません。

④ サービスのご依頼について

サービスのご依頼は、お買上げ店、または日本楽器各支店オーディオサービス係へお願い致します。

■支店への持込み修理

故障の場合、出張サービスのご依頼をなさらずに、直接ご自分でお買上店又は最寄りのヤマハ各支店へお持ちいただければ、出張料などの経費の点でお得ですし短期間でおなおしすることができます。

ヤマハ各支店の住所と電話番号をご参照ください。

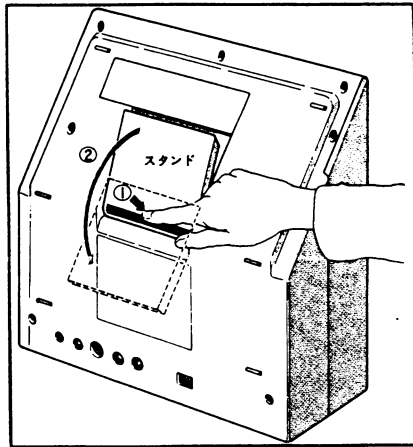
■保証期間の1ヵ年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施致します。尚補修用性能部品の保有期間は8年となっております。

■万一お買上店でのサービスについてのご不満又は製品の不調や疑問がございましたら、ご面倒ではございますが、ヤマハ各支店オーディオサービス係にご連絡くださいますようお願い致します。

5 TC-800GLは、このようにセットしてください。

TC-800GLを机の上などでお使いになるときには、裏面のスタンドを右図のように①②の順で引き出してパネル面を傾斜させてお使いください。

MARIO BELLINI のデザインによるユニークなインテリアとなります。



6 乾電池の入れ方

本体の裏面にあるスタンドを引き出し、右図のようにバッテリーホルダーのカバーを右図のように①の方向へ指で押し、②の方向に上へ持ち上げて、取り外してください。

2. 乾電池はスタンドの裏面に表示されているように⊕⊖を間違えないように収納してください。

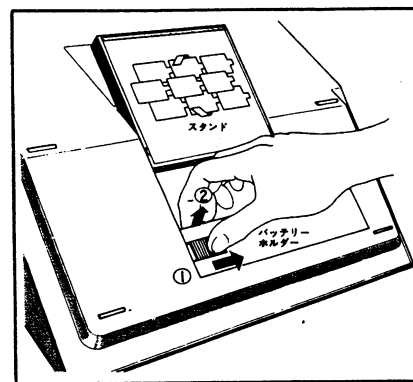
3. 乾電池を収納しましたら、バッテリーホルダーのカバーを取り外したときと逆の順序で取り付けてください。

※乾電池では連続2時間、断続では4～6時間の使用が可能です。

乾電池を長い間使用しない時には、液もれ防止のため取除いてください。

7 ヘッドの清掃

本機のヘッドには新開発のスーパーハードパーマロイ録音・再生ヘッドが使われています。S/Nや録音歪の少ない高性能ヘッドですが、古いテープやホコリなどで汚れたりしますと音質に大きく影響しますので定期的にクリーニングしてください。



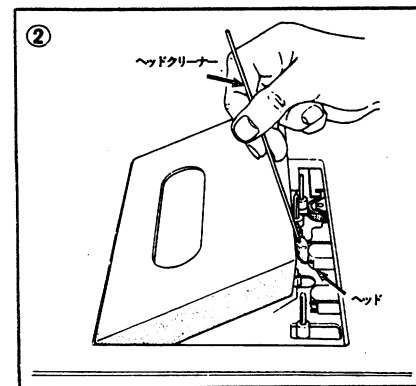
〈ご注意〉

家庭用以外の電源(乾電池・外部DC12V)をご使用の、乾電池の消耗を防止するために次の機構が動作しません。

①MEMORY STOP(メモリーストップ)機構(取扱手順⑧の④項の説明)が動作しません。

①EJECT ボタンを押してカセットボックスを上を開きます。

②ヘッド面をヘッドクリーナーで清掃してください。

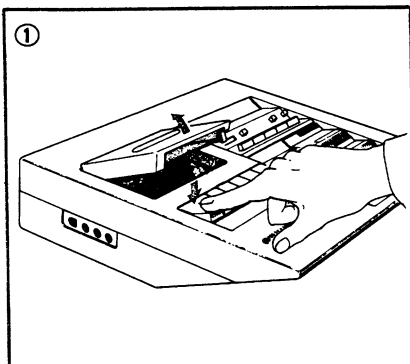
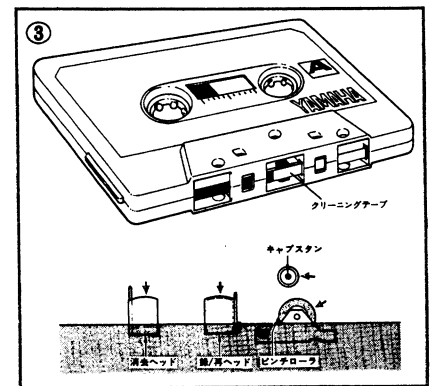


②オートストップ機構が動作しません。テープが片側に巻き取られると自動的に各スイッチ(プレイボタン、早送りボタン、巻き戻しボタン)が停止する機構となっていますが動作はしません。

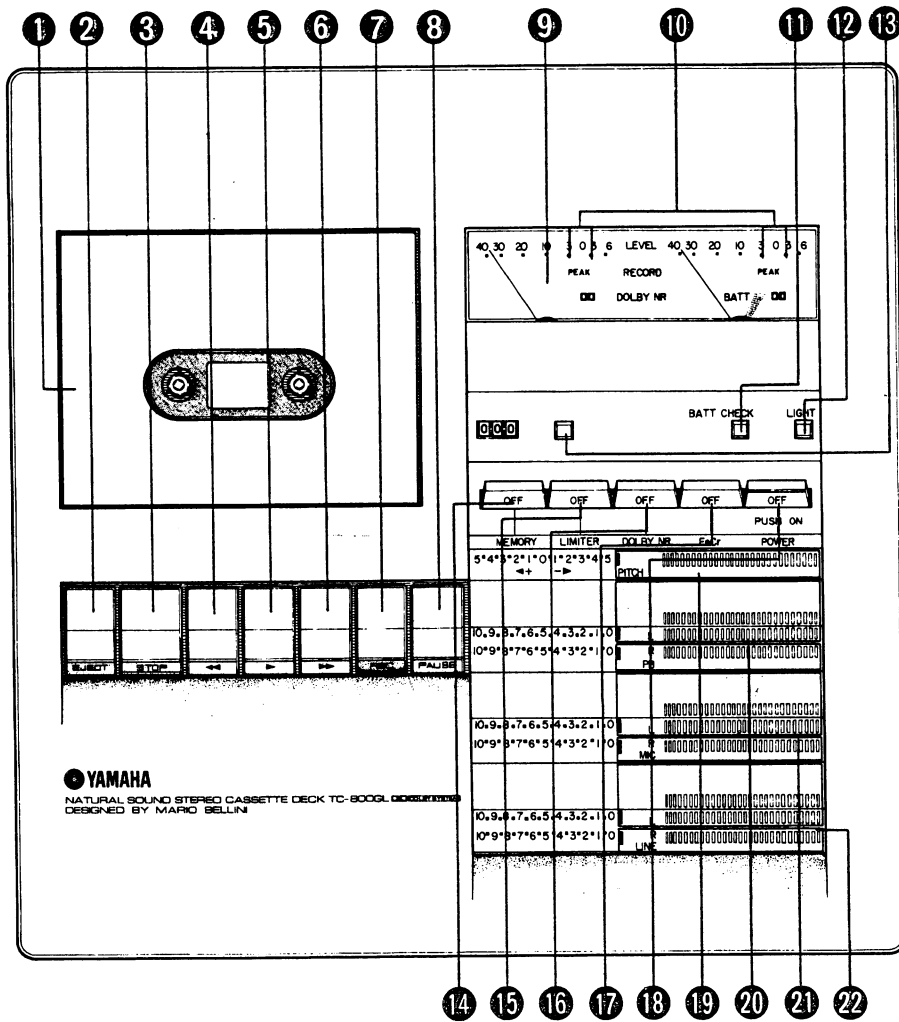
③LIGHT スイッチを押したときはメーター類照示ランプは点灯いたしますがスイッチを放しますとランプは3秒程度で消えていきます。

以上、操作が家庭用AC(交流100V)電源ご使用の場合と違う点で、全て乾電池をご使用時の電池の消耗を防止する為でございます。

③附属デモンストレーションテープの最初の部分がクリーニングテープとなっておりますので、簡易的にはデモンストレーションテープをご利用ください。



⑧ 各部の名称



■ フロントパネル

① カセットボックス

カセットテープを収納する場所で、EJECTボタンを押すと上に開きます。

② イジェクトボタン(EJECT)

テープをカセットボックスから取り出すときに押してください。必ずSTOPボタンを押して、テープの走行を止めてから操作してください。

③ 停止ボタン(STOP)

テープ再生、録音、早送り、巻戻しを停止させるときに押してください。

④ 巻き戻しボタン(◀◀)

テープを巻き戻すときに押してください。(この状態から▶▶にするときは、一度STOPボタンを押してから操作してください。)

⑤ プレイボタン(▶)

テープを再生するときに押してください。RECボタンと同時に押すと録音状態になります。

⑥ 早送りボタン(▶▶)

テープを早送りするときに押してください。(この状態から◀◀にするときは、一度STOPボタンを押してから操作してください。)

⑦ 録音ボタン(REC)

録音のときにこのボタンとプレイボタン(▶)を同時に押してください。録音のとき以外にこのボタンを押しますと録音済みのプログラムを消してしまいます。

⑧ 一時停止ボタン(PAUSE)

録音、あるいは再生状態のままで、テープ走行だけを停止させたいときにこのボタンを押してください。もう一度押しますと、一時停止は解除されます。

このボタンはタイマーを使用して電源が入りますと停止状態が解除されるように設計されています。

⑨ レベルメーター(LEVEL)

カセットテープを録音、または再生するときに、このメーターの指針の振れによってレベルを確認します。(メーターは音量を指示するVUメーターで、数字は-40dB～+6dBの値を示します。)

左側のメーターが左(L)チャンネル、右側のメーターが右(R)チャンネル用です。

⑩ ピークインジケーター(PEAK)

緑色のインジケーターが-3dB、赤色のインジケーターが+4dBのピークレベルで点灯するようになっています。

緑色のインジケーターが点灯し、赤色のインジケーターが点灯しない程度に、録音のとき、MIC、またはLINE入力レベルをセットしてください。

⑪ バッテリーチェックボタン(BATT CHECK)

バッテリー、またはDC12V電源のチェック用です。このボタンを押して右側のメー

ター指針が青色マーク間にあれば正常です。

⑩ 照明用プッシュボタン(LIGHT)

バッテリー、またはDC12V電源の場合、このボタンを押すとレベルメーターに照明ランプが点灯します。

AC電源の場合は常時点灯します。

⑪ テープカウンターリセットボタン

このボタンを押してテープカウンターを、“000”にしておくと、録音や再生のときにプログラムの頭出しが容易にできます。

⑫ メモリストップスイッチ(MEMORY)

この機構は、録音した箇所を直ちに再生したい場合や、同じ箇所を何回も繰り返して聞きたい場合などに使うと便利です。まずメモリスイッチをONにし、テープカウンターを“000”にします。その後、再生または録音を開始し、任意の箇所で止め、巻き戻しボタンを押しますとテープカウンターの数字が“999”でオートストップが働きます。

尚、家庭用AC(交流100V)電源でご使用中のMEMORYスイッチがON(MEMORY STOP)動作テープカウンター“999~900”の間は巻き戻しボタンが入りません。その場合は、MEMORYスイッチをOFFにしてご使用ください。

⑬ リミッタースイッチ(LIMITTER)

録音入力レベルが大きすぎると音が歪みます。このスイッチを押して録音すると過大入力を制限して歪みを防ぐことができます。

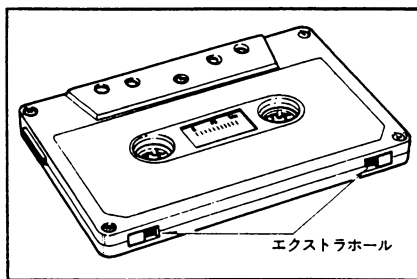
⑭ ドルビースイッチ(DOLBY SW)

ドルビーシステムで録音再生するとき、このスイッチを押してください。ピアノシモでも極めてノイズの少ない録音、再生が楽しめます。ドルビーシステム使用以外のテープの場合は、押し戻してOFFにしてください。

⑮ テープセレクタースイッチ(LH/FeCr)

フェリクロームテープ(FeCr)とローノイズテープ(LH)の性能を最高に発揮するために使い分けるセレクタースイッチで、押し戻したときにフェリクロームテープ、押し戻したときにローノイズテープ使用の場合です。(また、図のようにクロームテープ(CrO₂)であることを示すエクストラホールを設けたカセットテープ使用の際は、カセットハウジング内に設けられた検出器によってこのスイッチのポジションとは無関係にクロームテープとの最適ポジションに自動切換が行われます。)

エクストラホールのないクロームテープをご使用の場合はFeCrのポジションでお使いください。



⑯ パワースイッチ(POWER)

AC、DC電源共このスイッチを押すとONとなります。

⑰ ピッチコントロール(PITCH)

テープ再生時、スライド目盛0を中心として土約3%のピッチを調整することができます。

このスライドノブは0の値で止まるようにクリックストップになります。

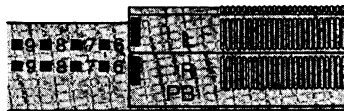
テープの再生音に合わせてピアノ演奏をするときなど、ピアノの調子を合わせることで便利です。

録音の際はピッチコントロールは動作しません。

● スライドノブの指標

目盛とスライドノブの指標は図の状態が“6”を指示します。

(例)



⑱ 再生レベルコントロール(PB)

テープ再生時のレベルを調整するもので、L、Rチャンネルそれぞれ単独にスライドさせてコントロールできます。

⑲ マイクロホン入力レベルコントロール(MIC)

マイクロホンを使って録音するとき、レベルメーターを見ながら入力レベルを調整してください。L、Rチャンネルそれぞれ単独にスライドさせてコントロールできます。

⑳ ライン入力レベルコントロール(LINE)

ライン入力(LINE IN)端子に接続されたプログラムを録音するとき、レベルメーターを見ながら入力レベルを調整します。L、Rチャンネルそれぞれ単独にスライドさせてコントロールできます。

■ タイマーをご使用いただく場合

TC-800GLで市販のタイマーを利用してFMエアチェックされる場合には、次の順序でセットしてください。

- ① パワースイッチ(POWER)を“ON”にします。
- ② ポーズ(PAUSE)ボタンを“ON”にします。
- ③ プレー(▶)、REC、ボタンを同時に押し録音状態にしてください。
- ④ レベルコントロール(LINE)で録音レベルをセットします。
- ⑤ タイマーを希望時刻にセットします。
- ⑥ 録音、終了はカセットのオートストップ機構が働き、自動的にストップします。

ご使用いただくタイマー“ON”してから1時間以上動作するものをご使用ください。

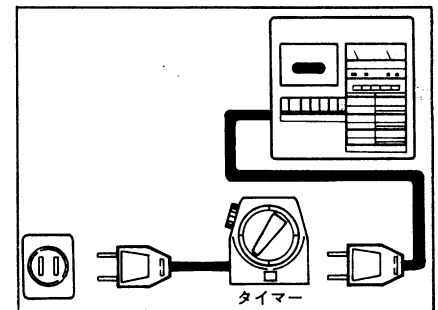


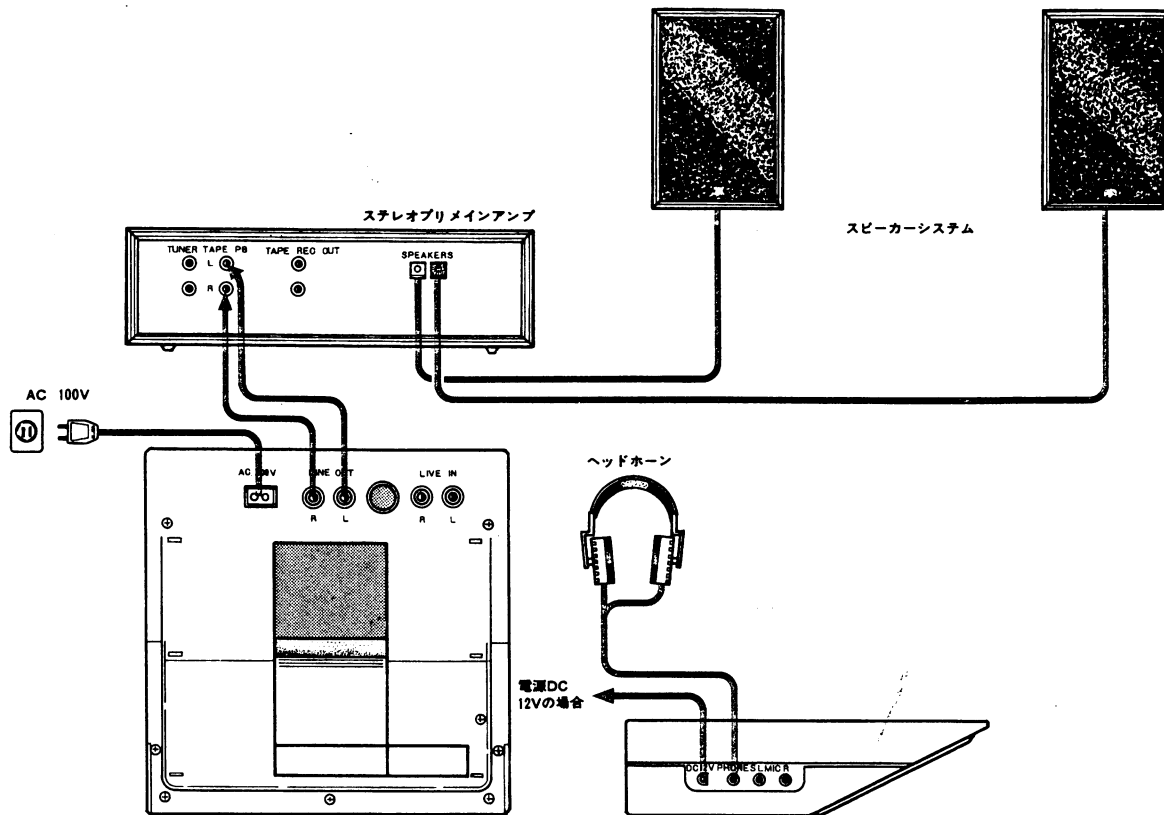
表1. テープによるインジケーターの最適点灯状態

	L・H	FeCr	CrO ₂
緑色	しばしば点灯する	ほとんど点灯する	時々点灯する
赤色	時々点灯する	しばしば点灯する	ほとんど点灯しない

表2. TC-800GL推奨テープ<一例>

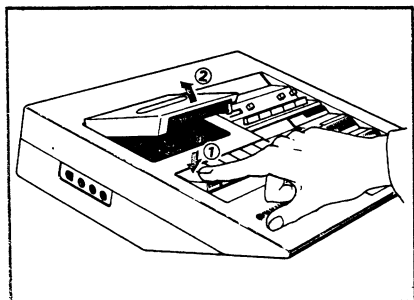
メーカー	種類	L・H	CrO ₂	FeCr
MAXELL		UPC-60,UDC-90 UDXLC-60,UDXLC-90	CRC-60 CRC-90	
T・D・K		SDC-60, SDC-90 EDC-60, EDC-90	KRC-60, KRC-90 (SAC-60, without N・R) SAC-90	
AGFA		C-60SHD, C-90SHD	C-60, C-90	
BASF		C-60LHSM, C-90LHSM	C-60CRSM, C-90CRSM	
Scotch		C-60, LOW NOISE C-90, HIGH DENSITY		CL-C60 CL-C90
SONY		C-60HF C-90HF		C-60Dual C-90

9 再生の手順

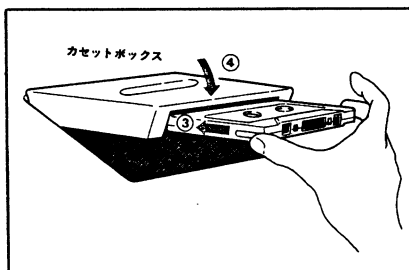


録音済みテープを再生する場合

1. 接続図を参考に電源、ヘッドホーン、外部アンプ、スピーカーなどが正しく接続されているかどうか確認してください。
 2. パワースイッチ(POWER)を押し電源を入れます。
 3. 録音済みカセットテープをカセットボックスに入れます。
- ①EJECT ボタンを押し、②カセットボックスを上を持ち上げます。



- ①カセットテープのお聴きになりたい面 (SIDE A またはSIDE B)を上にし、カセットボックスを挿入してから④を下に押し下げてください。



4. カセットテープの種類によってテープセレクトスイッチ、またはドルビースイッチを切換えてください。
5. テーププレイボタン(▶)を押し、テープを走行させます。
6. レベルメーターの指針の振れを再生レベルコントロール(PB)により任意に設定していただきます。
(最大0 ~ +3 dB)
7. アンプ側のVOLUME、TONE CONTROLなどを最良位置に調整してください。
8. テープが右側へ全部巻きとられて片面の再生が終るとオートストップ機構により自動的に停止します。
続けて裏面の再生を行なうときには、

EJECT ボタンを押してテープを一度取り出し、テープを裏返してカセットボックスにセットします。

9. テープ再生を止めたいときには停止ボタン(STOP)を押してください。

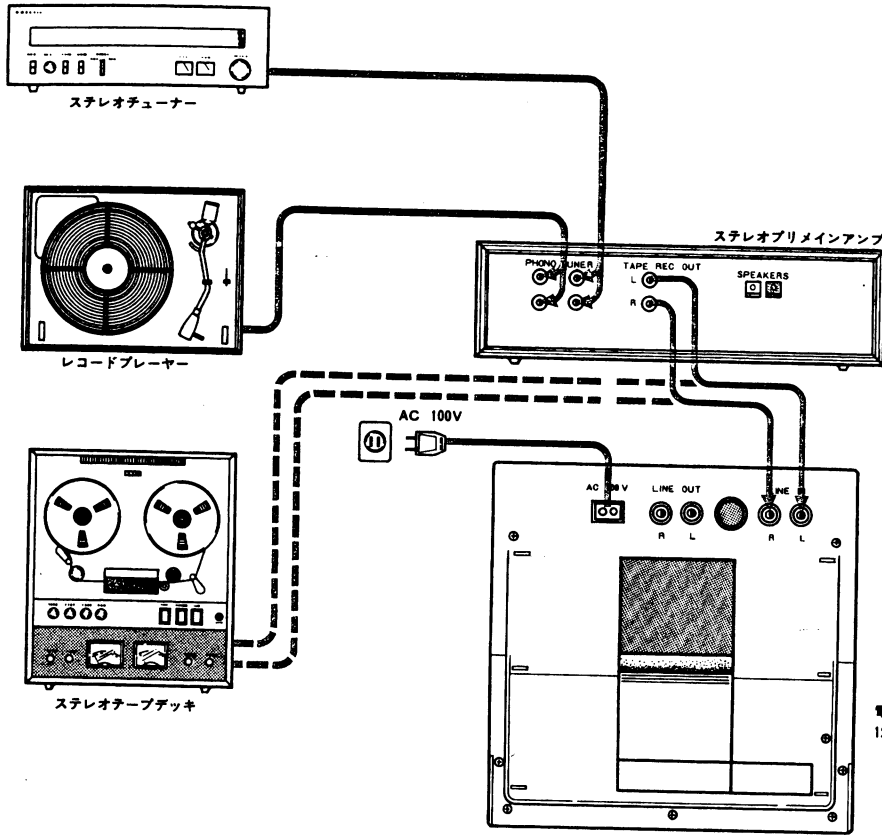
■早送り：テープの途中から再生する場合、早送りボタン(▶▶)を、

■巻き戻し：テープを巻き戻してもう一度再生するような場合は巻き戻しボタン(◀◀)を押してください。テープは高速で巻きとられます。テープがテープエンドまで巻きとれると、オートストップ機構により自動的に停止します。

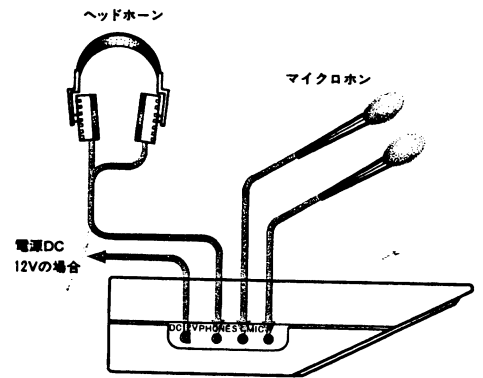
■一時停止：再生中のテープを一時停止させたいときには一時停止ボタン(PAUSE)を押してください。

PAUSE ボタンは押し戻して解除できる他、パワースイッチをONにさせていただくタイマーを使用しての解除も可能です。

10 録音の手順



あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。



録音の前に

1. 接続図を参考に、電源、マイクロホン、アンプなどが正しく接続されているかどうか確認してください。
2. パワースイッチ(POWER)を押し、電源を入れます。
3. カセットテープをカセットボックスにセットします。
4. カセットテープの種類に合わせてテープセクタースイッチ(LH/FeCr)を切り換えてください。
ドルビーシステムで録音するときは、ドルビースイッチ(DOLBY SW)を押してください。
5. 録音開始の前にテープカウンターのリセットボタンを押して“000”にしておくと、プログラムの頭出しが楽に行なえます。
6. レベルメーターを見ながらレベルコントロール [マイク(MIC)、ライン(LINE)]で左右チャンネルの入力レベルを調整します。緑色のピークインジケータが点灯し、赤色のピークインジケータが点灯しない程度にセットして

ください。

- レベルメーターは、瞬間的に変化する信号に対しては針の振れが十分追従できないので正確にその値を指示することはできません。ピークインジケータはこのようなメーターに現れない信号でも点灯し、警告してくれます。また、赤色のピークインジケータはプログラムソースのピークレベル以上(+4 dB)になると点灯します。これは録音される波形が歪みを起こす境界付近ですので点灯しても歪みが発生するとは限りません。
7. 生録音など予期しない過大入力が入って音が割れてしまうことがあります。このような事態が予想される場合には、あらかじめリミッタースイッチ(LIMITER)を押しておいてください。

リミッター録音する場合には、レベルメーターの指針が最大振れで0~+3VU前後になるようレベルコントロールを調整し、リミッタースイッチを押しておきます。

録音開始

8. 入力レベルのセットが終わったら、録音ボタン(REC)と、テーププレイボタン(▶)を同時に押すと録音状態になります。
9. 録音が終わりましたら停止ボタン(STOP)を押してください。
10. さらに片面を録音するときには、カセットテープを裏側に入れ換えてください。

ミキシング録音

TC-800GLでは、マイクロホンとラインの入力回路がそれぞれ単独に設けられていますから、マイクとライン入力をミキシングして録音することができます。録音の順序は1~10項と同じですが、マイクロホン入力レベルコントロール(MIC)と、ライン入力レベルコントロール(LINE)を調整し、レベルメーターが振り切れないようにしてください。

日本楽器製造株式会社

- 本社・工場 〒430・浜松市中沢町10-1
TEL・0534(61)1111
- 東京支店 〒104・東京都中央区銀座7-9-18/パールビル内
TEL・03(572)31111
- 銀座店 〒104・東京都中央区銀座7-9-14
TEL・03(572)3111
- 渋谷店 〒150・東京都渋谷区道玄坂2-10-7
TEL・03(463)4221
- 池袋店 〒171・東京都豊島区南池袋1-24-2
TEL・03(981)5271
- 横浜店 〒220・横浜市西区南幸2-15-13
TEL・045(311)1201
- ジョイナス
ヤマハ店 〒220・横浜市西区南幸1-5-1
TEL・045(311)6361~4
- 千葉店 〒280・千葉市中央4-2-1/まつだやビル内
TEL・0472(24)6111
- 大阪支店 〒564・吹田市新声屋下1-16
TEL・06(877)5151
- 心斎橋店 〒542・大阪市南区心斎橋筋2-39
TEL・06(211)8331
- 梅田店 〒530・大阪市北区梅田1/阪神百貨店5階
TEL・06(345)4731
- 神戸店 〒650・神戸市生田区元町通り2-188
TEL・078(321)1191
- 四国店 〒760・高松市丸亀町8-7
TEL・0878(51)7777
- 名古屋支店 〒460・名古屋市中区錦1-18-28
TEL・052(201)5141
- 九州支店 〒812・福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL・092(431)2151
- 福岡店 〒810・福岡市中央区天神1-11/福岡ビル内
TEL・092(721)7621
- 小倉店 〒803・北九州市小倉区魚町1-1-1
TEL・093(531)4331
- 北海道支店 〒064・札幌市中央区南十条西1丁目/ヤマハセンター
TEL・011(512)6111
- 仙台支店 〒980・仙台市1番町2-6-5
TEL・0222(27)8511
- 広島支店 〒730・広島市紙屋町1-1-18
TEL・0822(48)4511
- 浜松支店 〒430・浜松市鍛冶町122
TEL・0534(54)4111
- 海外支店 ロスアンゼルス・メキシコ・ハンブルグ・
シンガポール・フィリピン

